

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		一般社団法人 ころろ相談研修センター connect小久保		公表日 2026年2月25日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 ・ 整備 ・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100%	0%	・必要に応じて療育で使用している教材を提供したり、写真などで情報共有を行ったりしている。 ・事業所で作成した掲示物を提供している。	今後も継続して取り組んでいきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・利用者が増加することを見込んで、それぞれの支援員があとどのくらい担当を持てるかを半年に一度確認をしている。	訪問支援に携わる職員を増やすことができるよう、内部研修を継続して実施していきます。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・ミーティングなどで訪問に行っていない支援員にも現状を伝え、目標設定や振り返りを行っている。 ・新しく支援員が増えた際には研修を実施し、訪問支援の内容や必要性を周知している。	今後も継続して取り組んでいきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・半期に一回の面談や必要に応じて月1回の面談を行い、保護者との方向性の擦り合わせを行っている。 ・毎回の訪問支援の後、LINEや対面で振り返りを行うことで、意向を聞き取って今後の訪問支援へ繋がるように留意している。	今後も継続して取り組んでいきます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・職員全体へ改めて尋ねることで訪問に行っていた職員がいることが分かった。訪問への同行の機会を設け、後身を育てている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	87.5%	12.5%	・あかし療育図鑑の調査を受け入れ、第三者による外部評価を行っている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・内部研修を実施し、職員の個の特性や性格傾向から環境調整を行ったり、外部研修を受講して訪問支援におけるポイントなどを学ぶ機会を設けたりして、訪問支援担当者の自己理解や資質向上を目指している。	今後も継続して取り組んでいきます。
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%	・普段での療育での様子や、保護者の方や学校園などの先生方からの聞き取り、訪問時の様子、検査の結果など、多角的な視点からお子さまのニーズや必要な支援を分析し、支援計画などへ反映している。	今後も継続して取り組んでいきます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・お子さまについて学校園での様子を都度ミーティングで共有することで、必要と考えられる支援を検討している。	今後も継続して取り組んでいきます。

適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%	・訪問前の事前打ち合わせなどで学校園の先生のご意見をお聞きしている。 ・日々の訪問支援時の振り返りで、必要な力について話し合っている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・支援計画原案作成時の支援者会議で計画について共有、支援員のコメントを反映させている。訪問支援毎に支援計画に立ち返りながら、振り返りを行っている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・S-M社会能力検査などの心理検査や訪問時のご様子、保護者の方や学校園の先生方からの聞き取りなどを総合した上で、お子さまの状況についてアセスメントを行っている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・3年毎に改訂されるガイドラインは事業所全体で変更点を確認、共有をしている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・ミーティングにて毎回訪問支援担当者から内容について情報共有をすることで、支援計画に沿った支援が行われているか確認を行っている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・訪問支援開始前だけではなく、訪問支援を行った後に都度ミーティングを行い、連携ができるようにしている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・職員間でミーティングを行い、訪問時の様子やお子さまの課題を共有したり、個別療育の教材の検討を行ったりしている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%	・学校園のご意向に沿って柔軟に対応している。	引き続き訪問先施設との関係性作りも大切にしながら、継続して取り組んでいきます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%	0%	・お子さまの行動や様子、クラスの状況や先生の発言などを記録し、どういった行動や環境がお子さまにとって良い影響を与えているかを検討することに役立てている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・訪問後にその都度保護者様へ報告を行い、今後の支援方法について相談をしている。また、併せて訪問先の様子を伺い、お子さまにとっての利益になるように計画の見直しを適宜行っている。	今後も継続して取り組んでいきます。
関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・原則として訪問支援担当者は、個別療育担当を兼務している。別の担当者が訪問支援担当者になることがあるが、その場合は毎回情報共有を行い療育での様子を認識できるように留意している。	今後も継続して取り組んでいきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・保護者様からの要望に応じて、関係機関からの了承が取れば訪問支援以外に関係機関連携として各機関と連携して支援を行っている。	今後も継続して取り組んでいきます。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・保護者様からの要望に応じて療育での様子を書面にまとめ、就学先へ情報共有を行っている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%	・事業所内での研修は勤務時間内に全ての職員が受講できるよう日程調整を行っている。また、外部研修に積極的に参加ができるように職員間で情報共有を行い、勤務時間内に受けられるようにしたり、費用の負担を法人で請け負ったりしている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	・法人内で担当を決め、持ち回りで参加を行い、内容について情報共有を行っている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・スケジュール（連絡帳）でのやりとりや玄関先での会話、カウンセリングなどを通して情報共有を行っている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・2025年度は就学相談について、学校園に行きたくないと言われたときの対応、特性の伝え方についてのペアレントトレーニングを実施した。来年度も開催を予定しております。	今後も継続して取り組んでいきます。
保 護 者 等 へ の 説 明	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時に運営規定や負担について説明を行っている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%	・事前会議を実施し、訪問支援の趣旨や目的について共通理解を持っていただけるようにしている。途中で支援方法に変更があった場合は口頭やお電話にて管理職の先生などと相談を行うようにしている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・事前にお子さまや保護者様の目標・願いについて聞き取る機会を設け、支援計画を作成している。	今後も継続して取り組んでいきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	・支援計画の説明の際に保護者様からの意見や要望の確認を行い、必要があれば修正した後に同意を得ている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・希望者にはカウンセリングを実施し、訪問での様子を伝えたり家庭での困りごとをお聞きしたりして具体的な工夫策を提案するようにしている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・学期に一回保護者交流会を実施し、ランチ会やバースデーカード作りなど子育て以外の活動を一緒にすることで気軽に家庭での悩みや取り組んでいる工夫について話し合う機会を設けている。	今後も継続して取り組んでいきます。

等	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・半期に一度子育てに関する負担度を聞き取り、必要があれば相談やカウンセリングの案内をしている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・定期的にブログやInstagram、Facebookを更新し、活動の目的や様子などを発信している。	今後も継続して取り組んでいきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・訪問時のご様子を伝える際には利用者以外のお名前を「Aさん」や「お友だち」と表記するように徹底している。訪問前から検査の結果や家庭の様子について質問があった場合は、保護者様の承諾を得てから情報共有をするように努めている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・視覚優位や聴覚優位など、得意な情報処理に合わせて文章を用いたり口頭で伝えたりするなど工夫をしてわかりやすく伝えるように留意している。	今後も継続して取り組んでいきます。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%	・訪問先での様子に加えて、普段の療育での様子についても共有し、今後必要な支援について学校園で取り組んでいただきたいことや療育で取り入れようと思っていることなどを共有している。	今後も継続して取り組んでいきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%	0%	・訪問先の都合に合わせて振り返りの時間を調整したり、その場で振り返りをしたりして毎回会議を行えるようにしている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%	・連絡帳やご利用の際に報告している。必要に応じて、ご家庭と一緒に協力して取り組んでいきたいことについてお話をさせていただく機会も設けている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・訪問先には名前などの個人情報が記載されたものを持ち出さないことを職員で共有したり、忘れ物などがないように留意したりしている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%	0%	・訪問先施設に寄り添いながら、実行可能な方法を提案できるようにしている。	今後も継続して取り組んでいきます。
非常時等の	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・年単位で計画を作成して、職員訓練を行うことでマニュアルを周知するとともに対応法を訓練している。	今後も継続して取り組んでいきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・重要事項について訪問担当職員に周知をしたり、訪問先に配布したりすることで意識ができるようにしている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・ヒヤリハットが起きた直後に対応した職員がデータで保存したり、ミーティング内で共有をしたりして対策を話し合う時間を設けている。	今後も継続して取り組んでいきます。

対 応	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・一年に一度、虐待に関して職員研修を行い、虐待に関する知識を身に付け、日々のミーティングで共有する中で職員同士で虐待にあたる対応がないか確認し合っている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	・虐待防止、身体拘束についての委員会を設け一年に一度委員会を開催している。また、必要な場合には保護者に十分な説明を実施した上で身体拘束について承諾を得ている。実際に身体拘束に至った場合は詳細を記録し、委員会などで話し合いを実施している。	今後も継続して取り組んでいきます。